

# 令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年6月6日

評価者	健康福祉部長 濱本正行
-----	-------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進
目標とするまちの姿	総合体育館やスポーツ広場の整備が進み、競技スポーツが活性化することで、市民のスポーツへの関心が高まっています。また、身近な場所で気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組める場が整備され、市民の運動習慣が向上し、健康寿命が高まっています。			
主な取組	<p>(1)市民スポーツ・レクリエーションの推進 市民が身近な場所で気軽にスポーツイベントに参加することで、スポーツを習慣化するためのきっかけづくりの提供や情報提供などを行います。また、障害者スポーツの推進を図るとともに、自然とふれあいながら行うウォーキングやマリンスポーツなどの野外活動の普及・奨励に努めます。</p> <p>(2)スポーツ環境の整備 すべての市民が自ら生涯スポーツを継続できるよう、体力・健康づくり教室や運動・体力相談事業などのイベントや教室を開催し、気軽に楽しめる環境の整備を行います。また、アマチュアスポーツや生涯スポーツの振興を支える団体を支援、育成するとともに、スポーツ活動を支援・指導する担い手を育成します。</p> <p>(3)競技スポーツの推進 市民が競技を行う上で目標となる市民大会等を開催する他、競技者の裾野を広げるための教室を実施します。また、ジュニア世代を対象にトップアスリートやその指導者から指導を受ける機会を提供することで、幼少期から競技スポーツへのきっかけづくりを支援します。</p> <p>(4)スポーツ施設の管理・整備 既存のスポーツ施設のバリアフリー化を行うとともに、市立小中学校の体育館・プールの開放など、市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境を整備します。また、市民大会を円滑に開催することが可能な施設の整備を目指します。</p>			

## 1 成果指標

成果指標①	1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
44.4		実績値	未実施	47.8					
		達成率	—	79.7%					

## 2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	313,851	298,626				
人件費	50,436	50,506				
総事業費	364,287	349,132				

### 3 担当部評価

#### (1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

##### 健康福祉部

市民がスポーツを習慣化するためのきっかけとなる情報の提供や、市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめるスポーツ施設の管理を行った。また、アマチュアスポーツや生涯スポーツの振興を支える団体への支援を行った。

自宅でできるオンライン双方向プログラムの実施や新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、学校体育館や学校プールの開放、海浜公園水泳プールや笛田多目的広場の開放を行い、スポーツやレクリエーションを手軽に楽しめる環境を提供したが、令和3年度の市民アンケートでは「1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合」が目標値を下回っている。

#### (2)今後の方向性

##### 健康福祉部

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、運動を習慣化するためのきっかけとなる情報の提供、イベントの開催、身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる環境の整備等を行っていくことで、市民の運動習慣が向上するよう努める。

#### (3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	健福-52	保健体育運営事業		7,410	8,887	16,297	現状維持	A	現状維持
	健福-53	各種スポーツ行事事業		9,492	12,031	21,523	現状維持	A	現状維持
	健福-54	学校体育施設開放事業		32,207	12,031	44,238	現状維持	A	現状維持
	健福-55	体育施設管理運営事業		249,517	17,557	267,074	現状維持	A	現状維持

#### (4)貢献度に関する分析

##### 健康福祉部

各種スポーツ行事事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市民運動会が開催できなかったが、アスリートを目指す志を持つジュニア世代の育成を図るなど、市民の競技力の向上を図るとともに、競技スポーツへのきっかけづくりを支援したことで、市民のスポーツへの関心を高める一助となった。

学校体育施設開放事業については、新型コロナウイルス感染予防として、使用人数の制限をするなどの対策を行いながら、体育館や学校プールの開放などを行い、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。

体育施設管理運営事業については、体育施設の修繕や深沢多目的スポーツ広場の整備を行い、身近でスポーツを行える環境を整えた。